

簡易調査シート

指標生物 (20種類)

- * 観察できた生物は () にチェック
- * 生物量に○を 10点：ひじょうに多い
5点：あまり多くない/少ない
1点：ごくわずか

<p>ケガキ () 生物量 (10・5・1) 潮間帯 上部～中部</p> 	<p>アオガイ () 生物量 (10・5・1) 潮間帯 下部</p> 	<p>ムラサキインコ () 生物量 (10・5・1) 潮間帯 中部～下部</p> 	<p>クロフジツボ () 生物量 (10・5・1) 潮間帯 中部</p> 
<p>カメノテ () 生物量 (10・5・1) 潮間帯 上部～中部</p> 	<p>イシゲ () 生物量 (10・5・1) 潮間帯 中部</p> 	<p>マツバガイ () 生物量 (10・5・1) 潮間帯 上部～中部</p> 	<p>ウミトラノオ () 生物量 (10・5・1) 潮間帯 中部～下部</p> 
<p>ヒジキ () 生物量 (10・5・1) 潮間帯 下部</p> 	<p>ヨメガカサ () 生物量 (10・5・1) 潮間帯 中部～下部</p> 	<p>ウノアシガイ () 生物量 (10・5・1) 潮間帯 中部</p> 	<p>オオヘビガイ () 生物量 (10・5・1) 潮間帯 中部～下部</p> 
<p>ヒザラガイ () 生物量 (10・5・1) 潮間帯 上部～中部</p> 	<p>イボニシ () 生物量 (10・5・1) 潮間帯 中部～下部</p> 	<p>アナアオサ () 生物量 (10・5・1) 潮間帯 下部</p> 	<p>タテジマイソギンチャク () 生物量 (10・5・1) 潮間帯 中部～下部</p> 
<p>ムラサキイガイ () 生物量 (10・5・1) 潮間帯全体</p> 	<p>マガキ () 生物量 (10・5・1) 潮間帯全体</p> 	<p>シロスジフジツボ () 生物量 (10・5・1) 潮間帯 上部～中部</p> 	<p>タテジマフジツボ () 生物量 (10・5・1) 潮間帯 上部～中部</p> 

【10点の生物】 非常にたくさん生息している生物

- ◎ 周辺を見わたすと、たくさん生息していることがすぐにわかる
- ◎ いたるところで岩をおおっている海藻、カキやフジツボなど
- ◎ 岩をおおうほどではないが、集団で観察できる場がたくさんある

【5点の生物】 生息数があまり多くない生物

- 周辺を見わたすと、所々にはんもしている海藻など
- たまに小さな集団が観察される
- すぐには見つけられないが、よくさがすと何度でも観察できる

【1点の生物】 ほとんど観察されなかった生物

△ 調査を通して1~数回だけ観察できた

* 観察できなかった生物は点数なし

生物量の
点数のめやす

指標生物とよく似た種類

ここには3種類だけあげましたが、他にもよく似た種類があります。また、同じ種類であっても生息している場所によって体の色がずいぶんちがうことがあります。生物の名前がわからない時は、調査マニュアル中の「磯の生物図鑑」(18ページ~38ページ)で調べてみましょう。

【カスリアオガイ】



潮間帯の上部で見つかるアオガイ類は、カスリアオガイであることが多い

【ベッコウガサ】



殻高が非常に高く、マツバガイと同じ場所か、もう少し上部で観察される

【キクノハナガイ】

ウノアシガイとよく似ています

